

みやけの風

第 30 号

平成13年(2001年)5月19日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「夜泊まるようになたっちな」「おうよ。んでも、あのガスじゃなかなか大変ずら」「だから」「そりゃそうとよ。雄山の上に牧草の種をまくっていうじよ」「まさか」「ずいぶん枯れちまったけど、そうしんと少しは違うじゃねえかし」「三宅島は緑の島だからな」島での取り組みが着実に進むことを祈りつつ。

みんなの声

(1) 八丈島でもがんばっています

三宅島の皆様いかがお過ごしでしょうか。我が家は現在、北区桐ヶ丘団地に私と子ども3人で生活しています。90世帯も三宅の人がいるということで、ボランティア会の方々にいつもお世話になりながら、昼間は福祉関係の施設で働いております。

————— 長引く避難、そして生業の再開

主人は、今年2月より八丈島に渡り、知り合いの方からハウス約300坪を借り仕事を始めました。三宅で10年間続けてきたユリの栽培をどうしても早く再開したかったです。

長引く避難で生業を失い、東京で一時アルバイトをしていましたが、やはり今後の

ことを考えての決断でした。八丈島には、三宅から避難されている方も多く、主人のいる群ヶ平団地にも10世帯20名以上の方がいらっしゃいます。一人暮らしをしている主人のため、色々お気遣いをいただき本当に有り難く思っています。6月には出荷できる見込みで、私もその時には手伝いに行く予定です。

————— 三宅の火山灰利用に希望

4月21日北区西が丘の産業技術研究所で、一般公開があり行ってみました。三宅島の灰を使って、ガラス・焼き物・織物等の展示があるというので、ぜひ見たかったです。三宅の海を思い出す深いマリンプルーのガラスのコップや小鉢、焼物は三宅の島沢さんの作品のほか、日本各地の陶芸

三宅島災害パネル展への写真大募集 Vol.2

前号でお伝えしたとおり、東京センターでは、三宅島災害パネル展を全国に提案して、いこうと、展示パネルセットの作成に取り組んでいます。ご協力の呼びかけに早速写真をお送りいただいた方々、誠にありがとうございました。引き続き募集しておりますので、皆様、ふるってご応募ください！！

写真の内容： 美しいみんなが帰りたい三宅島の姿
 噴火災害と島民の姿
 避難先での様子

期 限：5月末日

形 態：紙焼きプリントされた写真または、デジタル写真データ

【お願い】 写真には、それぞれご自分のお名前を裏面に書いてくださると助かります。お寄せいただいた写真につきましては、返却できませんのでご了承ください。東京センターにて、記録資料として責任もって大切に保管させていただきます。

家の方の個性的な作品が並んでいました。黒くてつややかな色あいは、三宅島の岩の色を思い起こさせます。その他、織物の色も渋くて良い色だなと思いました。あのセメントの粉のようなやっかいものの灰が、利用の仕方ではこのようになるのかと思うと不思議な気持ちになり、これから三宅の復興にきっと役立って欲しいと思いました。まだ、見ていらっしゃる方にもぜひ見て頂きたいと思います。

長引く避難生活で心身ともに疲れていらっしゃる方が多いと思いますが、三宅に戻れるまで、健康に気をつけてできる事を頑張っていきましょう。また、よろしかったら八丈島の方にもお出かけ下さい。八丈でも皆頑張っていますよ。今年はちょっと雨が多いようですが。

(5月9日 北区 西野園芸 西野 悦子)

(2) 練馬からの便り

5月2日。練馬区役所を出発し、つつじ公園を見学(つつじは練馬区の花)、練馬郷土資料室の見学。ここには出土品・民具・石造物・古文書等やこどもたちの生活史で懐かしい品々が展示されていました。それから三宝寺池周辺の史跡案内をしていただきながら、1時間余り散策をしました。三宝寺池の植物群は「三宝寺池沼沢植物群落」として国の天然記念物に指定されており、緑豊かな自然に触れながら、こどもから、お年寄りまでが行楽できる所として、みなさんに親しまれています。新緑の林を歩いていると雄山林道を思い出させるところが

あり、落ち葉を踏みしめながら、「良い堆肥になるね～」とか、「さといもを植えたら、良いのが出来るだろう」などと、矢張り会話は三宅のことになってしまいます。一時帰島も難しく、何時帰れるか判らない不安と闘いながら、みんな頑張っています。昼食は光が丘第一ホテルでバイキング料理をお腹いっぱい、頂きました。それからラドン温泉に入浴して、疲れのとれたところでカラオケタイムとなり、歌が始まったら、踊りまでとび出し、和気あいあいと、和やかに楽しいひと時をすごさせて頂きました。

私たち練馬在住の村民は、バスハイクを企画して下さいました練馬区防災課職員の方がたに、一同が感謝しております。

(練馬区 森部(坪田))

とびだせセンターレポート

三宅島「げんき農場」開園式

東京八王子に赤芽イモやアシタバ・サツマイモなど島の特産品を作って、島に帰って元気に農業を再開できるよう、東京都が三宅島「げんき農場」を開園しました。センターからも開園式に出席させていただきましたので、様子をお伝えします。

オジ、オバたちの声も一段と明るく響き、皆さん久々の土いじりに本当にうれしそうで、希望に燃えておられるのが印象的でした。採用されたのは68名で、6班に分かれて作業をする予定だそうです。「三宅と土が違うからなー」といいながらも、「だいじょうぶ、うまく育つよ」と自信をのぞかせておられました。

(東京センター 坂上(幸))

日にち	時間	場所	内容	問い合わせ先
6月3日(日)	開場：12:00 開演：13:00	稲城市中央文化センター ホール	鼓遊 チャリティーコンサート「第三回太鼓の集い2001」に三宅島民をご招待	太鼓の会 鼓遊 Tel:042-377-5968 担当：木崎
6月3日(日)	開場：13:00 開演：13:30	日本青年館 大ホール	「東京マンドリン・アンサンブルコンサート2001」に三宅島民をご招待、入場料3200円のところ島民無料	東京マンドリンアンサンブルコンサート実行委員会 Tel:03-3332-3882 受付で島民と教えてください